

今年度の研究

研究主任 我妻

今年度の校内研究は、昨年に引き続き算数科について取り組んでいます。算数を通して、算数とはどのようなよさがあるのかを、子供たちと探ってきました。

二期期の研究授業は、一年生と三年生でした。一年生は「どちらがおおい」という水のかさの大きさを比べる学習、三年生は「はしたの大ききの表し方」で小数の表し方の学習でした。どちらの授業も単元の始まりで、身近な事柄と関連付けたり、一人一人が取り組めるような教材の工夫をしたりと子供たちの意欲を引き出す授業の展開になりました。子供たちが主体的に取り組めることが、今回の研究で大切にしているところです。

また、授業の後半の話し合いでは、友達のを聞いていろいろな考えを合わせる統合的な見方・考え方をクラス全体で共有しました。これが、算数の学習のよさの一つであると考えます。

合唱交流会にむけて

音楽専科 伊勢

本校では、毎年、五年生が西東京市立小学校合唱交流会に参加しています。今年は、『ふじ山』『HEIWAの鐘』を歌います。限られた練習の中、子供たちはとても集中してのびやかに歌えています。また、なめらかな部分、落ち着いた部分、力強い部分と一曲で歌い分けることができている、素晴らしい仕上がりになっています。

学習過程では、歌詞の意味を深めるために、「平和ってすてきなね」という絵本の読み聞かせをしました。平和とは何かを考えたところ、「戦争がないこと」「毎日笑ってご飯が食べられること」「心がおだやかでいられること」などと、日常の中から平和について考えていました。

平和について考えを深めたことで、自然と子供たちの歌い方が変わりました。私は、その歌声に鳥肌がたつたのを覚えています。本番でも、素敵な歌声を響かせてくれると思います。

書き初め

書写担当 植村

日本では平安の昔から一月二日に書き初めをしてきたようです。この日に書く文字が上手になるとか…。書いた作品は一月中旬の「どんど焼き」という行事で焼いたそうです。

最近は筆の使用が減り、書き初めの風習も薄れてきました。しかし、毛筆は子供たちが簡単に触れることのできる伝統文化のひとつです。昔の人々のように新しい年への決意を文字にこめるのもよいことと思います。

また、じっくり書くことで、はね・はらい・止めなどが意識付けられずし、特に毛筆では、筆運びの面白さや、体を大きく使って書く楽しさも味わえます。一文字に向ける集中力も大切です。美しい文字を目指しますが、最近流行の絵手紙のように個性のある味わい深い文字もよいものです。今年度の書き初め展は、一月十八日（金）から三十日（水）。各教室の廊下に作品を展示します。一人一人の思いのこもった作品をどうぞご覧下さい。

食育

栄養教諭 根本

「食べることは、生きること」私たちは、食事から生きるエネルギーを得ています。食育は、体を動かすことは、『生きること』そのものです。成長期により良い食習慣、運動習慣をはじめとした望ましい生活習慣は一生の宝となることでしょう。そのために「しっかりと食べて、たくさん動いて、十分な休養をとること」つまり、一日のリズムが大切です。その積み重ねが、考える力や確かな学力へつながるといいます。本校での食育は、年間を通して各学年さまざまな取り組みをしています。また、今年度も、二月二日（土）三校時、全学級で食育の授業を行います。四校時は、東京国際大学人間社会学部から講師をお招きし、「食と運動」をテーマに講演を予定しています。子供たちの将来のためにできること、保護者の方も一緒に考えるきっかけとなっていただけなら幸いです。楽しさ、おいしさを感じながら健康的に過ごせるようにしていきます。

《西東京市立小学校児童作品展のお知らせ》 各校から選ばれた代表児童の作品が展示されます。

<場所>スポーツ文化交流センター「きらっと」<日時>1月25日（金）17:30~19:00（受付終了18:30）、26日（土）27日（日）9:10~16:50（受付終了16:20）28日（月）9:10~13:50（受付終了13:20）